

令和6年〔2024年〕度 自己点検・自己評価

学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園

園長 古閑 博美

自己評価・学校関係者評価委員会

2024年度自己点検・自己評価を実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。

自己点検・自己評価を行う意味は、経営の改善と発展にあります。自己評価は「学校評価の最も基本となるものであり、校長（園長）のリーダーシップの下で当該学校（幼稚園）の全教職員が参加し、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行うもの」です。上記「」内（）は古閑。

（www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/06/13/1323515_02.pdf 平成30年（2018年）12月26日閲覧）

また、幼稚園は学校教育の始まりであるとして次のように示されています。

これからの幼稚園には、学校教育の始まりとして、こうした**教育の目的及び目標（※）**の達成を目指しつつ、一人一人の幼児が、将来、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにするための基礎を培うことが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各幼稚園において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

※「教育は、教育基本法第1条に定めるとおり、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期すという目的のもと、同法第2条に掲げる次の目標を達成するよう行わなければならない。（後略）」（『幼稚園教育要領解説』平成30年3月、文部科学省、286頁）

とあり、「幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。」（『私幼時報』全日本私立幼稚園連合会・公益財団法人）が合致します。『幼稚園教育要領解説』は10年ごとに改定されます。

学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園の教育理念・目標・方針

教育理念：「子どもは何ものにもかえがたい宝である」（創立者 吉田 富五郎）

教育目標：『ただしい子（知性の涵養）』『うつくしい子（情操の陶冶）』『つよい子（意志の形成）』『あかるい子（心身の健康）』の育成

教育方針：「教育理念の下、**全身教育※1**を推進し、教育目標の達成を目指します。『**3つの大切なもの**』**※2**を強調し、『4つの自（自発、自立、自律、自尊）』の萌芽を促します。」

※1 「全身教育」とは「全身にさまざまな刺激を与えることにより心身の善的発達に寄与する教育」のこと（古閑博美 2018）

※2 「3つの大切なもの」とは「いのち（生命力）・こころ（心力）・からだ（体力）」のこと
各学年並びに特別教室は、教育（保育）課程（「社会に開かれた教育課程」『幼稚園教育要領解説』p.2）を基に教室運営の目的と内容及び使用テキスト等を決定し、園児の発達段階を踏まえて継続的・段階的・発展的に教育に取り組むものです。

「カリキュラム」とは「全教科課程、教育課程」のことで、広義には学習者の学習経路を枠づける教育内容の系列であり、狭義には学校教育の内容を発達段階や学習目標に応じて系統的に配列した教育課程のことです。一般にカタカナ表記が定着しています。

年間行事のほか、カリキュラム等の運営・実施計画は学事日程（予定）に組み込んで周知し、正課科目のシラバス（年間実施計画）はホームページ（HP）に掲載します。教育時間に実施するカリキュラム等は、学年で統一するもの以外クラス毎に計画し、運営しています。

『幼稚園教育要領解説』（文部科学省 平成 30 年 3 月）には、「カリキュラム・マネジメント」として、以下に挙げた 6 点（①～⑥）の実現を目指すと明示されています（p.3）。本園はこれらの実行と改善に努めます。

- ① 「何ができるようになるか」（育成を目指す資質・能力）
- ② 「何を学ぶか」（教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成）
- ③ 「どのように学ぶか」（各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の皆瀬・充実）
- ④ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」（子供の発達を踏まえた指導）
- ⑤ 「何が身に着いたか」（学習評価の充実）
- ⑥ 「実施するために何が必要か」（学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策）

以上

文責 古閑 博美

※ 本園の経営方針を踏まえて教育と保育全般を総合的に評価し、次年度の教育と保育の計画に生かすためのものであることを理解したうえで記入してください。

〔記入方法〕 A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。

A：たいへんよい B：よい C：検討を要する D：改善を要する

・意見や改善策があれば、項目ごとに記述してください。

※提出締め切り：2025年1月15日正午（時間厳守）／提出先：園長

○件名「2024年度自己点検・自己評価アンケート回答 氏名」 ○本文不要

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育・保育目標	(1)教育（保育）目標は、本園の理念や特色を反映しているか。					
	(2)教育（保育）目標は幼児の実態を踏まえたもので、シラバス（年間教育計画）に反映しているか。					
	(3)教育（保育）目標の実現に社会の要請や保護者の願いを反映し、改善を加えているか。					
シラバス	(1)幼児の実態や、発達段階に即してシラバスを作成しているか。					
	(2)『幼稚園教育要領解説』（文部科学省 平成 30 年 3 月）に基づいた取り組みと支援を適切に行っているか。					
	(3)環境構成を意識し、教育内容は常に工夫して幼児教育の改善と向上につなげているか。					
カリキュラム	(1)1日の流れ(デイリーカリキュラム)は常に見直し、教育に適切に反映しているか。					
	(2)週報は適切に記載し、教室運営に役立てているか。					
	(3)カリキュラムは学年間の引継ぎや幼少接続を意識した内容になっているか。					
行事	(1)行事の種類や実施回数は適切で、保護者の願いや意見に配慮しているか。 ※三大行事（公開教育、運動会、子ども会）のほか、夏季・園外教育（遠足や収穫体験等）を実施					
	(2)行事には「ねらい」が適切に設けられ、計画や実施に十分生かされているか。 ※すべての行事と企画の実施計画は事前に作成し、職員会議で諮り、ねらいや意義などを全職員が共有している。					
	(3)幼児の活動範囲を明確にしたうえで、社会性（自発・自律・自立・自尊）の育成に配慮した実践的な活動に取り組んでいるか。 ※園内外で教育的取組全般を通じて活動している。					

◎ 教育・保育計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分 掌 ・ 体 制	(1)能率的かつ合理的で風通しのよい組織か。					
	(2)職務内容は明確で、協働できる体制か。					
	(3)職員の配置や仕事の分担は概ね適材適所か。					
運 営	(1)各種会議等は適切に運営されているか。					
	(2)職員はそれぞれ全体における立場を理解し、適切に組織運営に関わっているか。					
	(3)会議や打合せの回数、時間、内容は適切か。					
学 級 ・ 経 営	(1)学級の経営目標は、教育目標や重点目標及び幼児の実態に即して設定しているか。					
	(2)学級経営上、同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。					
	(3)学級経営の評価や資料（諸記録）は集積されているか。					
保 健 ・ 安 全 指 導	(1)学級経営に有用な保健対策を具体的に講じているか。					
	(2)避難訓練や交通安全、防犯・防災指導を計画に基づいて適切に実施しているか。					
	(3)健康的で安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭と連携を取っているか。					
研 究 研 修	(1)園内研修の計画と運営は適切か。					
	(2)研究テーマを持って幼児教育に取り組み、幼児理解を深めているか。					
	(3)各種研究会、研修会、講習会、学会に積極的に参加しているか。 ※練馬区私立幼稚園教育研修会、ほか ※魅力行動学会研究会：毎年7月第二土曜日@本園					

◎開かれた幼稚園づくりに関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報取扱	(1) 幼児や、保護者に関する個人情報 は適正に取り扱っているか。						
	(2) 公文書の収受や発送、処理等を適切に行っているか。						
	(3) 各文書は適切な方法で作成し保管するほか、的確に処理しているか。						
施設設備	(1) 施設や設備の安全に関わる点検は計画的に行い、都度記録しているか。						
	(2) 遊具・用具等は活用しやすいように整理し、保管しているか。						
	(2) 安全な環境を維持するため、園内外の必要部署や担当と連携し、告知用の掲示板や連絡ツールを適切かつ効果的に活用しているか。						
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。						
	(2) 年度初めに必要な予算を計上し、年度末に見直しているか。						
	(3) 年度末に使用品目を集計し、必要な部署等に報告や引継等を行うほか、来年度の予算作成に生かしているか。						
開かれた幼稚園づくり	他所・機関との交流	(1) 他所との交流のさい、指導者や担当者同士が打ち合せや事前・合同研修を行い、互いの取組に対する理解を深め、援助に関する共通理解を図っているか。					
		(2) 他園や小学校等の見学や参観等をとおして、幅広く教育理解に努めているか。					
		(3) 日常的に他所・機関の情報を入手したり交換したりするほか、参観や見学希望者の来園を気持ちよく受け入れているか。					

保護者との関係	(1) 保護者会（おひさまの会）との関係は良好か。					
	(2) 保護者面談の希望に適切に応じているか。					
	(3) 保護者の関心事や要望に適切な対応をしているか。					
地域との交流	(1) 地域の行事に積極的に参加するなど、地域の文化や生活を含め、地域住宅（住人）への配慮は適切か。					
	(2) 収穫体験の時期や内容は適切か。					
	(3) 幼児の興味や関心に基づく教育設計の下、小学校や地域社会と交流しているか。					
災害対応	(1) 災害時の避難場所や避難経路を了解しているか。					
	(2) 災害時の避難場所等は地域で共有しているか。					
	(3) 災害・不審者等の避難訓練や事前事後指導は適切に行われているか。					
	評価	A	B	C	D	
施設の活用	(1) 園内の施設、備品等、外部の希望者（団体）に利用を許可しているか。					
	(2) 長期休業中、園児に対する特別教育支援プログラム（夏期教育、夏まつり、にこにこ教室教育プログラム等）を作成し、実施しているか。					
	(3) 施設の活用に工夫を凝らし、「幼小接続準備講座」など、保護者を対象とした学ぶ機会を設定しているか。					
子育て	(1) 「園だより」や「れんらくアプリ」、ホームページ等で本園の情報を適切かつ的確に発信しているか。					

支 援 推 進	(2) 本園の行事（学事日程）や子育て支援事業（預かり保育）等地域や児童施設、小学校に周知しているか。					
	(3) 第三者評価（自己評価・学校関係者評価委員会）を導入し、経営に反映しているか。					

◎その他（本園の教育と経営に資する意見や提言があれば、以下に自由に記述してください。）

以上

2025 年 1 月 日記入 歳児学年 組 氏名